

スタッフの 白崎 が取材に行ってきました！

ふくいけん のうぎょうしけんじょう

★訪問先名

福井県 農業試験場



★取材にご協力頂いた方の所属(お名前)

福井県農業試験場企画・経営課(木下様)

★所在地

福井県福井市寮町辺操52-21

★農業試験場の担当品目

水稲、花き

★福井県農業試験場の研究テーマ

平成31年までに21項目の研究課題があり、そのうち、今回は「福井発の五つ星ブランド水稲新品種(ポストこしひかり)の育成についてお話を伺いました。

これまで福井県は「生産者重視の品種改良(コメであれば収量性、耐倒伏性、穂発芽性)で進めてきました。しかし、消費者が求める食味やコメの品質を左右する高温登熟に関する遺伝子が判らず、その遺伝子を選抜する技術が不足していたことで、コシヒカリを超える品種育成ができなかったということです。

今後は、**福井県独自の技術**を用いて、消費者視点からの育成を行い、育種目標の3本柱「①おいしい②つくりやすい③環境にやさしい」でコシヒカリを超える品種育成の平成29年度の品種登録出願を目指しているそうです。福井県の気候条件下で、最も美味しく、品質の良い次世代水稲品種を育成し、全国に誇れる福井発全国ブランド品種となるよう日々研究しているとのこと。

★福井県独自の技術とは？

高温耐性を持つ遺伝子の有無を判別するDNAマーカー選抜技術を福井県農業試験場が全国で初めて開発しました。これまでの研究により、約3万2千個ある稲の遺伝子の中から暑さに強い遺伝子の場所を特定することに成功し、この技術を活用することで、高温に強い遺伝子を持つイネを選びやすくなりました。

★農業試験場は見学も可能です。9時～16時(平日のみ)

昨年の農業試験場の見学者は、北は北海道から南は宮崎から主に生産組合や稲作協議会、JA部会などが見学に訪れており、のべ900名を受け入れたそうです。

見学の場合は、必ず1ヶ月前までに電話で予約してください。

連絡先:企画・経営課 TEL:0776-54-5100(代)

★「研究成果展示コーナー」がオープンしました！

展示コーナーでは、福井県が育成した水稲35品種の標本やポストこしひかりの開発経過、これまでの実用化技術、さらにコシヒカリを育成した石墨慶一郎博士の功績や研究室の再現を展示されています。福井農業試験場の見学には是非立ち寄っていただくと良いと思います。写真付きでわかりやすい解説があります。

★農業試験場のようす



水稲の試験農場の写真です



コシヒカリは福井生まれの品種です



展示コーナーの写真です